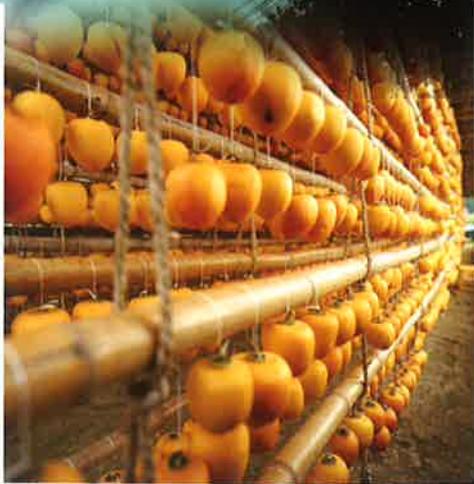


Ishikawa
Medical
石川県地域医療支援センター 広報誌
WAVE
いしかわ メディカル ウェイヴ

2012
Winter

第8号



石川県地域医療支援センター

平成 24 年度 臨床研修指導医 養成ワークショップ

主催：石川県地域医療支援センター／共催：金沢大学附属病院



平成 24 年度の臨床研修指導医養成ワークショップが、10 月 20 日、21 日の 2 日間、金沢大学附属病院宝ホールにて開催されました。

医師の臨床研修が必修化となったことに伴い、各研修施設では適切な指導医及び指導体制を確保することが重要となりました。

このワークショップは研修医に対して研修目標を設定し、それに従った指導を行うことによって、臨床研修指導医としての資質の向上を図ることを目的としています。

今年度は、対象者となる金沢大学附属病院協力型臨床研修病院・施設より初期臨床研修指導活動で中心的役割を担う臨床経験 7 年以上の医師 48 人が集い、金沢大学附属病院卒後臨床研修センターの吉崎智一氏、福井大学医学部の寺澤秀一氏ら 10 名の講師とともに、7 つのテーマに沿ってグループ討論や発表などを行い、研修医確保と指導体制の確立に向け、活発に話し合いました。



指導医ワークショップ日程表

第1日 平成24年10月20日(土)				
時間	内容	形式	担当	
8:30-9:00	受付			
9:00-9:05	開会(吉崎センター長、富田理事長挨拶)		D	
9:05-9:20	写真撮影(参加者、講師)		CTF	
9:25-9:35	オリエンテーション		D	
9:35-10:15	40 自己紹介(研修コメント)		D	
ワークショップ1 「研修医のストレス」 村上英樹、伊藤真人				
10:20-10:35	15 プレゼンテーション	PLS		
10:35-11:35	60 グループ討論	SGD	CTF,TF	
11:35-12:45	70 発表、まとめ	PLS		
12:45-13:30	昼食			
ワークショップ2 「困った研修医への対応」 吉崎智一、砂子阪 肇				
13:30-13:50	20 プレゼンテーション	PLS		
13:50-14:40	50 グループ討論	SGD	CTF,TF	
14:40-15:40	60 発表、まとめ	PLS		
15:40-15:50	休憩			
ワークショップ3 「オンザジョブトレーニング」 谷口 巧、石川紀彦				
15:50-16:05	15 プレゼンテーション	PLS		
16:05-16:55	50 グループ討論	SGD	CTF,TF	
16:55-17:50	55 発表、まとめ	PLS		
17:50-18:30	夕食			
ワークショップ4 「初期研修における教育法」 松村正巳				
18:30-19:30	60 プレゼンテーション	PLS		
19:30-20:00	30 質疑、討論	PLS		
第2日 平成24年10月21日(日)				
ワークショップ5 「初期研修と医療安全」 寺澤秀一				
8:30-9:00	30 プレゼンテーション	PLS		
9:00-9:55	55 グループ討論	SGD	CTF,TF	
9:55-11:05	70 発表、まとめ	PLS		
11:05-11:15	休憩			
ワークショップ6 「卒後臨床研修とER教育」 寺澤秀一				
11:15-12:15	60 プレゼンテーション	PLS		
12:15-12:45	30 質疑、討論	PLS		
12:45-13:25	昼食			
ワークショップ7 「研修医との意見交換」 山下竜也、砂子阪 肇、伊藤直子				
13:25-13:55	30 プレゼンテーション	PLS		
13:55-14:55	60 グループ討論	SGD	CTF,TF	
14:55-16:05	70 発表、まとめ	PLS		
16:05-16:15	休憩			
16:15-17:15	60 感想、意見交換	PLS	D	
17:15-17:35	修了証授与、閉会式		D	

PLS:Plenary session 全体セッション(発表)
SGD:Small Group Discussion グループ討論
D:Director 講習会主催責任者
CTF:Chief Task Force 講習会世話人チーフ
TF:Task Force 講習会世話人

いよいよ来春オープン! 金大病院CPDセンター



地域医療再生計画の目玉事業のひとつで、金沢大学附属病院外来棟 4 階で建設が進められている「金大病院 CPD センター」が、平成 25 年春から本格的にスタートする。金沢大学附属病院副院長で、開設準備委員長をつとめる太田哲生教授(消化器・乳腺・移植再生外科)に具体的な内容について聞いた。

CPDは、Continuing(継続的な)、Professional(専門職)、Development(能力開発)の頭文字で、職業人に必要な専門教育と能力開発を継続的に行う。つまり、金大病院CPDセンターは職業人としてのスキルアップや専門能力を向上させるためのシミュレーション、生涯教育を目的とした施設であることを示しています。

医療人を育成する拠点であるCPDセンターの中期ないし長期の施策としては大きく三つあります。一つは、**医療人の育成と生涯教育を図る**。二つ目は、**バーチャルシミュレーターを活用し、医療人のスキルアップ、医療水準の向上を図る**。三つ目が、**ITネットワークの活用による地域医療への貢献**です。とくに三番目のミッションは、地域医療を支援するうえで重要な施策に位置づけられており、地域医療に携わる医師の診療支援や臨床教育を実現する大きな柱になると考えています。

ITネットワークを整備することによって、テレビ会議システムで能登北部等の地域医療圏に勤務する医師が、金大病院などで行われているカンファレンスや症例検討会に参加できる環境を整える。ITを通じて診療画面を一緒に共有しながらの診療支援、臨床教育を実現できるようにする。そうした環境づくりを通じて医師を中心とした医療人や地域医療を支援するのが底流にある考え方です。

CPDセンターの内部は、シミュレーター室を中心に、研修ゾーン、休憩・交流ゾーン、管理ゾーンという三つのゾーンに分かれています。シミュレーター室には、低侵襲医療技術の発展に伴い、内視鏡治療、腹腔鏡治療、血管内治療などより質の高い、安全な医療に対する需要が増加し、高度な技術を持った専門医の育成が急務になっていることから、最先端のバーチャルリアリティトレーニングシミュレーターによる高度な医療のトレーニングができる環境を整える計画です。

導入が予定されている 「ロボット手術トレーニングシミュレーター」のご紹介



電気手術器の操作 運針
エンドリストの動作性 カメラ&クラッピング

地域医療連携 石川県小児医療ネットワーク事業

地域の小児医療を救い、 新たなプラットホームとするために――

石川県内の小児医療は今、医療の集約化や重症心身障害者対策など様々な問題を抱えています。こうした小児医療の問題解決の糸口を探るため、県と金沢大学附属病院などが中心となり「石川県小児医療ネットワーク事業協議会」が発足しました。会長である谷内江昭宏・金沢大学附属病院小児科教授と、医局長の太田邦雄准教授に活動状況などについて聞きました。



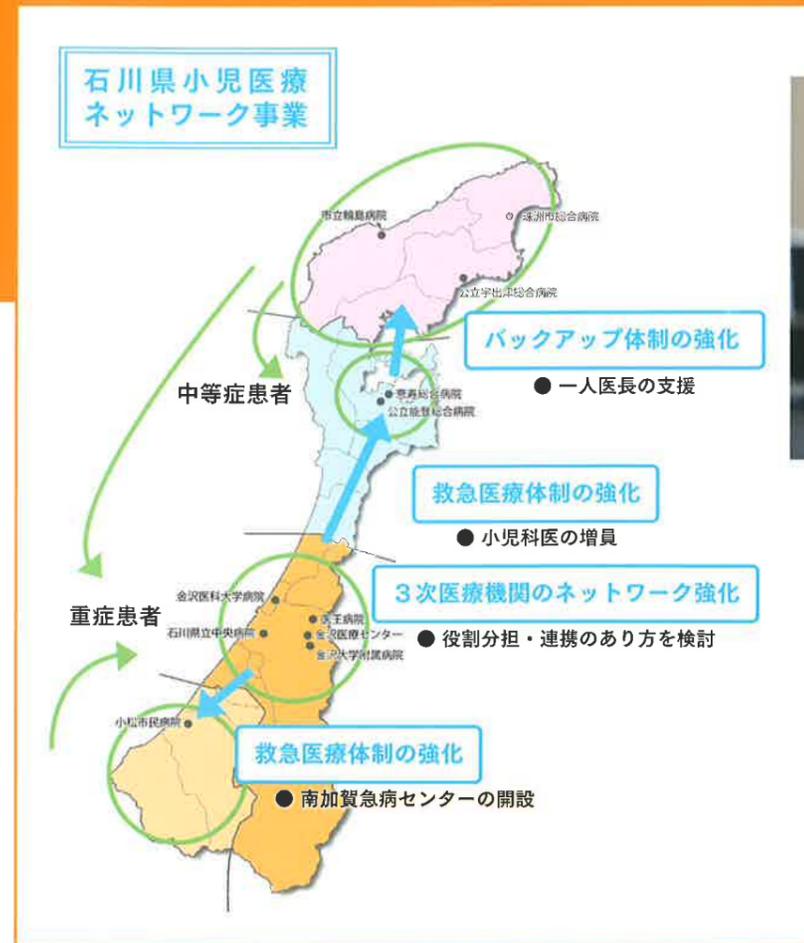
奥能登の一人医長をサポート

小児医療は、高度で専門的な医療の発達により、重症の子どもたちを救えるようになった一方で、医師不足による効率的な医療を推進するための、集約化された医療の必要性が叫ばれてきました。しかし、石川県の奥能登のように、金沢から車で2時間圏外にある地域では、専門性の高い医療の確保は必ずしも十分とはいえない環境にあります。

そうしたなか顕在化したのが、能登北部医療圏の小児科医のサポート体制です。現在、能登北部医療で珠洲市総合病院、市立輪島病院、公立宇出津総合病院は小児科医の一人医長が続いています。患者数は金沢や南加賀地区と比べて多くはありませんが、一人の医師がカバーするエリアは広く、車で30分圏内に小児科医はわずかに一人。24時間365日対応している現状にあります。金沢大学附属病院等からの応援や、近隣の医療機関との連携はあるものの、風邪の流行期や救急搬送などがあると賄いきれず、大きな負担になっています。

こうした状況を改善するために、平成23年4月、県と金沢大学、金沢医科大学などが中心となり「石川県小児医療ネットワーク事業協議会」が設立されました。小児医療が抱える様々な問題について知恵を出し合い、解決の糸口を探ることを目的としています。会長を務める金沢大学附属病院小児科の谷内江昭宏教授が、意義を強調します。

「きっかけは能登北部の一人医長をどうサポートするかですが、もともと地域の先生方同士“顔が見える”関係なので、ネットワークが組みやすいのはあったと思います。今回、県の予算でバックアップいただきネットワーク事業を立ち上げることができて、能登医療圏の問題はもちろん、全県的な小児医療の問題を一つのシステムとして改善、解決していく起爆剤になったと思っています。ネットワークに参加されている先生方と懇談するなかで



重症心身障害への医療が急務

一方、新たな問題も浮き彫りになってきています。その一つが、重症心身障害者への医療が手薄になっていることです。新生児医療や小児集中医療の進歩により、生命予後は飛躍的に改善された反面、人工呼吸管理をはじめとする高度医療を常時必要とする、超重症化した障害児が増加しています。さらに、現在施設に入所中の障害者の高齢化が進み、必要とされる医療は小児科領域にとどまらず外科、整形外科、泌尿器科など他科との連携が不可欠になってきています。谷内江教授は危機感を募らせます。

「石川県は金沢の医王病院、七尾の七尾病院、加賀の石川病院でそれぞれ重度心身障害者を受け入れていますが、病床が満床のために在宅医療を余儀なくされている患者さんも相当数いて、完全には実態が把握できていません。とくに医王病院は全国で最も患者さんが多いという報告もあり、今後、ネットワーク事業協議会として情報を共有し、地域全体として課題や方向性について政策提言していくことが急務になっています」

現在、小児医療ネットワーク事業協議会では、医王病院の関秀俊院長を委員長とする「重症心身障害者医療委員会」を発足、連携強化と現状調査のためのワーキンググループを設置し、調査に乗り出しています。

そしてもう一つ早急に解決すべき問題として、石川中央医療圏における「時間外一次小児医療供給体制」の役割分担があります。現在の時間外一次救急は県立中央病院、金沢医療センター、金沢総合健康センター夜間急病診療所のほか市内の開業医が当番医となり、ローテートで支えています。しかし開業医の高齢化が進み、当番医のときに体調を崩すなどの問題が起こるとその体制が維持できなくなる状態にあります。そのため、センター化など持続可能な小児医療を実現するための実態把握が急がれているところです。

小児医療の問題は山積しているものの、ネットワーク事業協議会の設立によって改善、解決の体制が整ってきているのも事実。谷内江教授は「これまで小児医療全体の問題を包括的に考える場所がなかった。今後、ネットワーク事業として共通認識をもち、モチベーションをもって問題解決していけるプラットホームにしたい」と目標を掲げています。

いろいろな課題が見えてきて、解決、改善していくための様々なアイデアがでてきています。この枠組みを将来につなげて、継続的に発展させていくことが使命だと考えています」

公立能登総合病院が橋渡し役

小児医療ネットワーク事業が動き出したことで、初年度は七尾市の公立能登総合病院に小児科医が一人増員され、4人体制になりました。これにより、公立能登総合病院が起点となって輪島と珠洲の一人医長をフォローするとともに、金沢大学附属病院との専門的かつ高度な医療の橋渡し役としても機能し、奥能登の医師をバックアップする環境も整いつつあります。金沢大学附属病院小児科の医局長として医師の人事・配転に苦慮してきた太田邦雄准教授は、胸をなでおろします。

「各自治体を越えて連携を確立できたことが大きいと思います。ネットワークが形成される以前は、たとえばインフルエンザが発生したときなど通常1日50～60人の患者さんが一気に100人規模で増えたので応援を出すのが大変でした。それが、能登総合病院から医師が常時フォロー、移動する体制、協力が可能になったことで、奥能登の先生方の負担はかなり軽減できたと思います。人的な支援はこれまでも行ってきましたが、県の予算でネットワークを構築できたことで、能登総合病院が金沢大学附属病院との橋渡し役として機能できる体制が整ったことも、奥能登の先生方には良かったと思っています」

石川県内の 臨床研修病院のご紹介



金沢大学附属病院

〒920-8641 金沢市宝町 13-1
http://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp

問い合わせ先 担当：卒業臨床研修センター
TEL (076)265-2058 FAX (076)234-4326
h-soum20@med.kanazawa-u.ac.jp

メッセージ

医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けるプログラムと将来希望する専門医としての基礎的能力を身に付けるプログラムがあります。

研修プログラム

■平成25年度プログラム

プログラム	概要	要
I	主として金大病院で2年間研修するプログラム	
II	たすきがけ病院12ヶ月と金大病院12ヶ月で研修するプログラム	
III	将来内科系(内科、神経内科、神経科精神科、放射線科、皮膚科、核医学診療科、がん高度先進治療センター)専門医をめざすプログラム	
IV	将来外科系(外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、脳神経外科)専門医をめざすプログラム	
V	将来麻酔科専門医をめざすプログラム	
VI	将来小児科専門医をめざすプログラム	
VII	将来産婦人科専門医をめざすプログラム	



金沢医科大学病院

〒920-0293 河北郡内灘町大学 1-1
http://www.kanazawa-med.ac.jp

問い合わせ先 担当：臨床研修センター
TEL (076)286-3511 FAX (076)218-8244
kensyu-j@kanazawa-med.ac.jp

メッセージ

金沢医科大学病院は各領域の指導医、専門医が数多く活躍しており、全国から疾患を持った患者さんが集まる特定機能病院として高度先進医療を展開しています。そして将来78種類もの指導医・専門医資格の取得が可能で、本院は金沢医科大学水見市民病院や金沢医科大学能登北部地域医療研究所などとともに、富山県西部から能登半島、金沢市、加賀地方をも含む一円の多くの病院や医療施設とネットワークを構築する地域医療の拠点でもあります。後期臨床研修では「スーパー指導医・専門医」として、地域医療のネットワークの中心となる医師として、あるいは疾病の予防にかかわる専門医として、皆さんが自らデザインするプログラムによりそれぞれの夢に向かって一流のプロを目指すシステムがそろっています。

研修スケジュール

■代表的なプログラム

1年目				2年目	
内科 6ヶ月	選択必修 3ヶ月	救急部門 3ヶ月	地域 1ヶ月	選択科目 11ヶ月	
必修					

メッセージ

日本三名園の一つである特別名勝『兼六園』に隣接した当院は、国立病院機構の高度総合医療施設並びに北陸地区の基幹病院としての役割を担い、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、地域周産期母子医療センターとして、様々な疾患や病態を総合的に経験できる基幹型および協力型の臨床研修指定病院です。研修は、臨床経験豊富な指導医と研修医のマンツーマン方式を採用し、毎月の研修医集会できめ細かな臨床指導、総合評価を行っています。

研修スケジュール

◎基本コース

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科(6ヶ月)											
	選択必修(2科以上3ヶ月)											
	救急(3ヶ月)											
	選択科(希望する科、1年次に研修できなかった科)											
2年次	地域医療(1ヶ月)											
	協力型病院(1診療科2月まで)											
	協力施設(1ヶ月)											



国立病院機構 金沢医療センター

〒920-8650 金沢市下石引町 1-1
http://www.kanazawa-hosp.jp

問い合わせ先 担当：管理課臨床研修担当
TEL (076)203-4502 FAX (076)222-2758
kenshu@kinbyou.hosp.go.jp



石川県立中央病院

〒920-8530 金沢市鞍月東 2-1
http://www.pref.ishikawa.jp/ipch

問い合わせ先 担当：総務課
TEL (076)238-7854 FAX (076)238-5366
syokuin@ipch.jp

メッセージ

当院は石川県における中心的医療機関として、一般の医療機関では対応困難な循環器医療、小児医療、がん医療及び救急医療を4本柱として高度先進的医療の充実を図ることを医療の目的としています。また、外来患者数1日平均約1,000人、入院患者数1日平均約540人、急性期疾患を中心に様々な患者さんが来院され、高度な専門医療はもちろん、プライマリ・ケアにも幅広く触れることができます。研修医の皆さんが当院で医師としての第一歩を踏み出し、実り多い研修医生活を送られることを期待します。

研修スケジュール

内科 6ヶ月	救急 3ヶ月	選択必修 3ヶ月	地域 医療 1ヶ月	選択科目 11ヶ月
-----------	-----------	-------------	-----------------	--------------



金沢市立病院

〒921-8105 金沢市平和町 3-7-3
http://www4.city.kanazawa.lg.jp/36001/byouin/index.jp

問い合わせ先 担当：事務局
TEL (076)245-2600 FAX (076)245-2690
byouin@city.kanazawa.lg.jp

メッセージ

当院は、地域を支え、地域に支えられる病院として“安全・安心・味わい”の医療を提供することを心がけています。地域医療における中核的役割を担っていることから、研修では救急医療を含めた common disease の症例が豊富であり、基本的診療能力(態度・技能・知識)を実地から身につけることができます。中規模急性期病院ならではの各科医師間・コメディカルとのスムーズな意思疎通が merit で、研修医の指導は、各診療科だけが行うのではなく、病院全体が行うという考えに立って指導を行っています。“よき臨床医の養成”が当院臨床研修の目標です。

研修スケジュール

■代表的なプログラム

1年次				2年次	
内科 6ヶ月	救急 3ヶ月	選択必修 3ヶ月	地域医療 3ヶ月	選択科目 9ヶ月	



浅ノ川総合病院

〒920-8621 金沢市小坂町中 83
http://www.asanogawa-gh.or.jp

問い合わせ先 担当：臨床研修担当
TEL (076)252-2101 FAX (076)252-2102
info@asanogawa-gh.or.jp

メッセージ

当院は金沢市にある病床数500床の、急性期医療の他、回復期リハビリ・医療療養を併せ持つケアミックス型の民間病院です。また、機能の異なる5つの病院と1つの老人保健施設を運営する【医療法人社団浅ノ川】の中核病院です。研修プログラムの特徴として、①マンツーマン指導、②研修医自身による研修内容の柔軟な変更が可能、③コ・メディカル陣のフットワークが良い、④PET-CT・ノボリス・320列CT等、最新鋭の診断治療を経験できる、⑤各分野の横のつながりは良好でアットホームな環境、⑥レクリエーションが充実していることが挙げられます。必須科目の内科においては、それぞれ専門分野を持っています。神経内科と腎臓内科は独立しており、これらの分野はそれぞれの科で、また循環器部門は当グループの金沢循環器病院で研修します。救急医療は、指導医と共に日中の急患を診察し、当直は月4回行います。選択科目は、将来のキャリアプランに沿って、幅広い選択が可能となっています。

研修スケジュール

内科 6ヶ月	救急 3ヶ月	選択必修 3ヶ月	地域 医療 1ヶ月	選択科目 11ヶ月
-----------	-----------	-------------	-----------------	--------------



城北病院

〒920-8616 金沢市京町 20-3
http://www.jouhoku.jp

問い合わせ先 担当：臨床研修担当
TEL (076)251-6111 FAX (076)252-5881
ishikensyu@jouhoku.jp

メッセージ

Small should be Better ちいさいからこそ できることがここにある
城北病院は、1968年以来200名を超える新卒医師を受け入れ、中小病院の特徴を活かし地域で学ぶ・患者から学ぶ・多職種から学ぶ研修を行ってきました。プライマリ・ケアを学ぶ研修を重視し、救急や外来での研修に力を入れています。昨年、医師の卒後臨床研修における第3者評価(NPO法人卒後臨床研修評価機構：JCEP)を受審し4年の認定を取得しました。当院では初期研修修了後も引き続き地域に根差した病院群にて後期研修が可能です。学会認定家庭医養成後期研修プログラムもあり、今年度、家庭医療専門医が誕生しました。当院は女性医師も多く、院内保育所、病児保育室があり女性医師も研修しやすい環境を整えています。

研修スケジュール

■基本的な研修プログラムの一例

		当院はスーパーローテーション研修											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次		救急部門	内科					麻酔科	整形外科	外科	小児科	内科	
2年次	内科	総合外来・救急	小児科	産婦人科	精神科	地域医療 (必修1月+選択1月程度)			選択				



金沢赤十字病院

〒921-8162 金沢市三馬2丁目251番地
http://www.kanazawa-rc-hosp.jp/

問い合わせ先 担当：企画課

TEL (076)242-9839 FAX (076)243-7552
krch@kanazawa-rc-hosp.jp

メッセージ

当院は、金沢市南西部の住宅地にあり、地域に密着した医療を展開しています。開放病床を設置して近隣の診療所と連携し、勉強会や症例検討会などを毎月開催しています。

内科は幅広い診療を行っています。なかでも糖尿病・腎センターと消化器病センターが特徴です。消化器病センターでは内科医と外科医が垣根のない医療を行っています。外科と整形外科は、金沢大学付属病院と密な連携を行っています。大病院の医師が来院して手術を行う症例が増加しています。救急部門については、名古屋第二赤十字病院の救命救急センターや、ヘリポートもあり充実した救急医療で知られる秋田赤十字病院の救命救急センターで3ヶ月間、有意義な研修ができます。

大病院と違った家庭的な雰囲気のある病院です。みなさまをチーム医療の一員として受け入れたいと考えております。心から歓迎いたします。

研修スケジュール

1年次	内科 6ヶ月間					外科 3ヶ月間		救急部門 3ヶ月間	
2年次	小児科 1ヶ月	産婦人科 1ヶ月	精神科 1ヶ月	麻酔科 1ヶ月	整形外科 1ヶ月	眼科 1ヶ月	地域医療 1.5ヶ月	選択科目 4.5ヶ月	



金沢社会保険病院

〒920-8610 金沢市沖町ハー15
http://www.kanazawa-shaho.jp/

問い合わせ先 担当：庶務課

TEL (076)252-2200 FAX (076)253-5074
shomu@kanazawa-shaho.com

メッセージ

当院は、16診療科を有する250床の急性期病院に加え、年間7万人の健診と特定保健指導を行う健康管理センター部門、併設施設として介護老人保健施設、訪問看護ステーション、金沢市地域包括支援センター、居宅介護事業所を有し、最新医療から介護・福祉まで切れ目のない地域医療の臨床研修が行える体制が構築されています。医局の中では、いつでも指導医や他科のドクターと相談でき、他の職種との緊密な連携があります。そのため問題解決の糸口が掴みやすく、さらに医師として将来必須のリーダー感覚が養われることでしょう。一般的な疾患の初診から再診、あるいは入院から退院への筋道だった経験が積み、隙のない系統的な医療マネージメント力が身に付きます。アウトホームな雰囲気でも充実した研修生活を過ごせますので、ぜひ金沢社会保険病院においてください。

研修スケジュール

■代表的なプログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門			小児科	産婦人科	精神科
2年次	地域医療	選択必修										



公立能登総合病院

〒926-0816 七尾市藤橋町ア部 6-4
http://www.noto-hospital.nanao.ishikawa.jp

問い合わせ先 担当：総務課
人事・給与・研修グループ

TEL (0767)52-8749 FAX (0767)52-9225
syomu@noto-hospital.jp

メッセージ

研修医は医師としての出発点であり、この時期に出会った医師・患者などは今後の医師としての態度に大きく影響し、また、この時期に獲得する能力は後々まで影響していきます。当院は病床数434床、医師数は50名程度で規模的にはそれほど大きくないですが、特徴として小回りが効き、医師同志、又はコメディカルとの連携も十分に生かすことができます。この特徴を生かして、チーム医療、患者中心の医療を学んでいただければと考えています。

研修スケジュール

■代表的なプログラム

1年次	2年次	
内科 6月 (必修)	救急部門 3月 (必修)	選択必修 科目等 3月
	地域医療 1月 (必修)	選択科目等11月



恵寿総合病院

〒926-8605 七尾市富岡町94
http://www.keiju.co.jp

問い合わせ先 担当：臨床研修センター事務局

TEL (0767)52-3211 FAX (0767)52-3218
kenshu@keiju.co.jp

メッセージ

- ① 自主性を重視した参加型研修。研修医教育に情熱を持った指導医層の厚さ。
② 屋根瓦式研修と自主運営レジデント会。
③ 家庭医療学センターでの外来研修。
④ 能登で唯一、常勤救急専門医の指導によるER研修。
⑤ 沖縄、神戸、千葉等の協力型研修病院での県外研修。
⑥ 多様なキャリアビジョンに柔軟に対応できる研修コース。
⑦ 2年次終盤、金沢大学附属病院・金沢医科大学病院において、入局が前提の協力型研修が可能。

研修スケジュール

◎スーパーローテーションの1例

※下記の「スーパーローテーションコース」の他に「内科系専門コース」「外科系専門コース」「産婦人科・小児科専門コース」もあります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(必修)			外科(選択必修)			救急(必修)			内科(必修)		
2年次	地域医療 (必修)	選 択		精神科 (選択必修)	選 択		地域医療 (選択)	選 択	選 択	選 択		



小松市民病院

〒923-8560 小松市向本折町ホ60
http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp

問い合わせ先 担当：総務課

TEL (0761)22-7111 FAX (0761)21-7155
cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp

メッセージ

①県下で唯一、一般、精神、感染症、結核、緩和ケア棟（全病床数364床）を有しており当院のみで研修を完了できます！ ②大きすぎず、小さくはない！全22の診療科に複数の医師が常勤し、マンツーマンで地域の第一線病院として実践的な研修を行います。 ③さまざまな症例に出会うことができます！南加賀の中核病院として、地域がん診療連携拠点病院、エイズ拠点病院であり、また緩和ケアなどの医療にも積極的に対応しています。 ④救急医療もおまかせ！初期救急は病院併設型の南加賀急病センターで、二、三次救急は南加賀救急医療センターで初期研修を行いながら、1年目で年間300～400症例を経験します。 ⑤シミュレーションルームがオープン、中心静脈カテーテル穿刺から総合手技評価シミュレータまで！ ⑥各種カンファレンスとメンターが充実！重要症例や救急症例のカンファレンスを通じて、知識や技術を共有し深めるとともにプレゼンテーションを学んでいきます。毎週のメンターも楽しみの集まりです。

研修スケジュール

■代表的なプログラム

1年次	内科 6ヶ月		救急 3ヶ月		選択必修 2ヶ月		選択科目 1ヶ月	
2年次	地域医療 1ヶ月	選択科目 (希望により金沢大学にて2ヶ月程度まで可)						



公立松任 石川中央病院

〒924-8588 白山市倉光3-8
http://www.mattohp.jp

問い合わせ先 担当：総務課

TEL (076)274-5972 FAX (076)274-5974
mattohp@asagatv.ne.jp

メッセージ

当院は白山市を中心に約17万人の医療圏の中核病院です。1年次は特に救急医療に力点を置いた研修環境を整え、豊富なプライマリーケアを経験していただきます。また、PET/CT、LINAC、64列CTなどの高度医療機器も充実し、それらを利用した先進医療に取り組んでいます。患者の診療記録は完全に電子化されており、研修医の負担となる雑務は極めて少なく、NSTやWSTなど各科横断的なチーム医療に参加し、幅広い知識と経験が得られます。選択科目は院内では勿論、金沢大学で研修することも可能です。

研修プログラム

■代表的なプログラム

◎平成23年度プログラムスケジュール概要

	4月				12月				3月	
1年次	内科				救急		内科		選択必修科目 計3ヶ月以上	
	※週1.5日救急専門医について救急研修									
2年次	地域医療	選択科目 (希望により金沢大学にて2ヶ月×2診療科まで可)								



芳珠記念病院

〒923-1226 能美市緑が丘11-71
http://www.houju.or.jp

問い合わせ先 担当：総務部

TEL (0761)51-5551 FAX (0761)51-5557
kotomi-i@houju.jp

メッセージ

当院は、石川県の南加賀地区の中核病院であり、ケアミックス型病院として地域医療から高度専門分野まで幅広い診療を行っています。そのため、広い診療分野において偏りのない研修が行えます。研修医の定員も2名で、マンツーマンでの丁寧な研修の機会を提供でき、「お客さん」ではなく、診療のスタッフの一員として接することができます。また、各診療科の横の連携も密であり、プログラムに縛られない広い範囲の研修の機会を得ることができます。先進医療として、腹部・胸部等の広い分野にわたる内視鏡手術を積極的に関与することができ、各種生活習慣病の管理・教育体制も充実しています。病院見学は随時実施しておりますので是非お問い合わせ下さい。

研修スケジュール

1年目				2年目			
内科 6月	救急 2月	外科・小児科 産婦人科・精神科 より2科目	地域医療 1月	選択科目11月(救急当直1月を含む) ※希望者には沖縄離島研修2週間			
必修		選択必修		必修			



金沢大学医学類特別枠等交流会



「金沢大学医学類特別枠等交流会」は、8月22日、金沢市内のホテルで開かれ、金沢大学医学類特別枠等学生約30名が集まり、交流を行った。

この交流会は、将来の本県の医療を担う学生に、改めて地域医療に対する熱意を表明してもらうとともに、学生同士の交流を図ることを目的として開かれており、今年度は第1回目の開催となった。

開会にあたり、谷本正憲知事は、「互いに切磋琢磨して勉学に励む中で、医師としての研鑽を積み、将来、本県の地域医療を牽引するリーダーとして成長してほしい」と期待を込めた。

続いて、医学生が学年ごとに近況報告を行い、その後代表者から谷本正憲知事への決意表明が行われた。

第2部では、実際に能登地域で勤務している先輩医師2名からの講演が行われ、学生らは、日頃の仕事の内容や生活の様子について熱心に聞き入った。



高度・専門医療人材養成支援事業について

近年、高齢化の進展にともない、がんなどの患者が増加しており、放射線治療やがん薬物療法などの高度・専門医療を担う人材に対する需要が高まっています。一方で、新たな治療法の開発も進んでおり、最新の高度・専門医療を身につけた人材の養成が望まれております。

こうした状況を踏まえ、県では、高度・専門医療に関す

る国内外の先進的な医療機関における研修や、医療従事者による研究会等グループが行う活動に対して、支援を行っています。

今年度は一次公募、二次公募合わせて計52件が補助対象として採択されました。平成25年度の公募は来春春に行う予定です。

事業内容等詳しくは、県健康福祉部地域医療推進室のホームページ
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/iryuu/support/jinzai.html>
 をご覧ください。

地域医療研修 in 能登2012



昨年度に引き続き、8月23日～24日と27日～28日に「地域医療研修in能登2012」を能登の公立3病院で行いました。今年の研修も学年に合わせて、第1部と第2部に分けて行いました。第1部では医学類の1、2年生が昨年と同じ見学中心の研修を行い、第2部では3、4年生が当直研修を行いました。今回、金沢大学医学類の特別枠の学生15人が参加しました。

第1部も第2部も市立輪島病院、公立宇出津総合病院、珠洲市総合病院の3病院へ分かれて研修を行いました。

この研修は、地域医療に関心のある学生に早い時期から、実際の地域医療の現場を体験してもらい、勉学のモチベーションを高めてもらうものです。

施設ごとで研修プログラムは異なるものの、第1部では、病院施設見学、診療見学、往診見学、地域見学といった見学中心研修を、第2部では、さらに当直体験を行いました。

今回、3、4年生の当直を経験した学生は、けが・病気で何人も患者さんがいらした経験を興奮した様子で、一方、1、2年生は地元の民宿に泊まり、その地域の雰囲気を楽しみました。

参加した学生達からは、「患者との意志疎通の場や看護師の方々との連携が特に印象深かった」、「医者として患者さんを思いやる大切さやチーム医療の大切さを学んだ」、「地域医療の温かみを感じた」、「地域医療に対する不安が軽減された」などの感想がありました。

今回の研修で、「地域医療」の現状と問題点を現場で感じ取ることにより、日々の医学勉強に少しでも刺激になったのではないかと思います。

平成21年度から始まったこの制度で、第1期の学生は今年で4年生となり、来年には臨床実習が始まり、いよいよ医師となる日が近づいてきました。

今後も、それぞれの学年に合わせた「地域医療」に関する研修を工夫し計画していく予定です。

最後になりましたが、今回の研修を快くお引き受け下さいました先生方をはじめ関連の方々へ改めて感謝申し上げます。



金沢大学附属病院
地域医療教育センター長
特任教授 山下竜也

石川県の地域医療に関する EVENT

明日の石川の医療を担う 若手医師の集い

参加者
募集

平成25年
2月3日(日) 13:00～

会場：ホテル金沢 2階 ダイヤモンド

内容

- ・ 県内臨床研修病院によるプレゼンテーション
県内の各臨床研修病院(14病院)による研修プログラム等の紹介
- ・ 個別相談
 - ① 県内臨床研修病院各ブースにおける医学生と指導医・研修医との意見交換
 - ② 「石川県女性医師支援センター」の女性医師支援コーディネーターによる個別相談(女性医師のキャリア形成のあり方など)
 - ③ 県による情報提供
地域医療支援医師修学資金貸与制度や子育て支援情報など
- ・ 症例検討会(県医師会が開催する研修会)
提示された症例について、病歴、身体診察、検査と順次吟味しながらどのように診断を進めていくのか、臨床推論の方法を実際の症例をもとにドクターGとともに医学生・研修医全員に考えてもらう参加型カンファレンスを実施

参加者：医学生、研修医、
県内臨床研修病院の関係者等 約200人

主催：石川県・石川県臨床研修推進協議会*

*県と県内臨床研修病院(14病院)で構成
金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、国立病院機構金沢医療センター、県立中央病院、金沢市立病院、浅ノ川総合病院、城北病院、公立能登総合病院、恵寿総合病院、小松市民病院、公立松任石川中央病院、芳珠記念病院、金沢赤十字病院、金沢社会保険病院

後援：公益社団法人 石川県医師会



前回の様子
(平成24年2月5日)





石川県地域医療支援センター

金沢市宝町13-1 金沢大学附属病院内 TEL.076-265-2991